

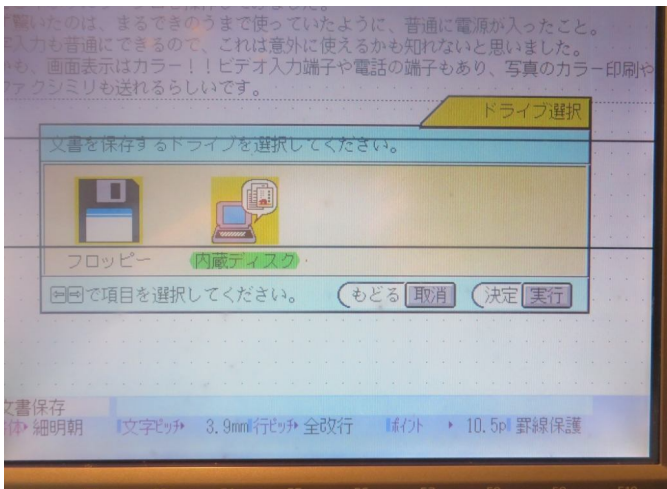
「24 年前のワープロ復活 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

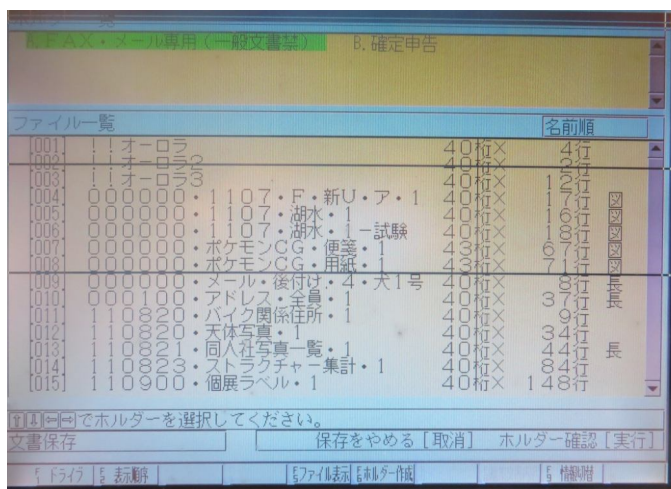
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

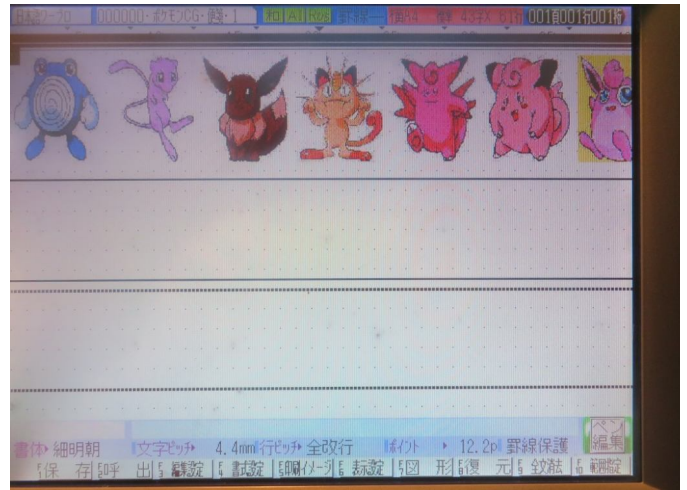
私が大学生の時に、最初に購入したワープロは、内部の記憶容量が小さく、作成した文書を保存できなかった。その場で印刷して、次の文書を作ると前の文書は消えてしまった。どうしても文書を残したい場合は、別売りで「外付けの記憶装置」もあるにはあったが、その記憶媒体は何と「カセットテープ」だった。



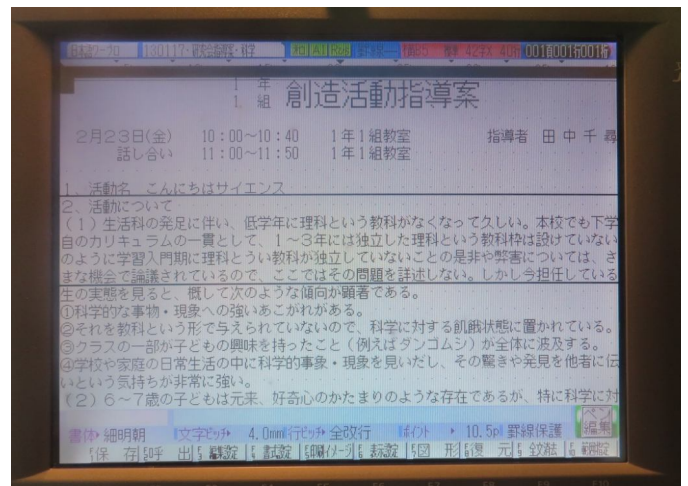
この機種にはフロッピーディスクドライブがあるので、文書の記録ができるのだが、肝心のフロッピーディスクなんか、もう手元に1枚も残っていない。しかし驚いたことに、この機種ハードディスクを内蔵していて、文書を保存できることがわかった。



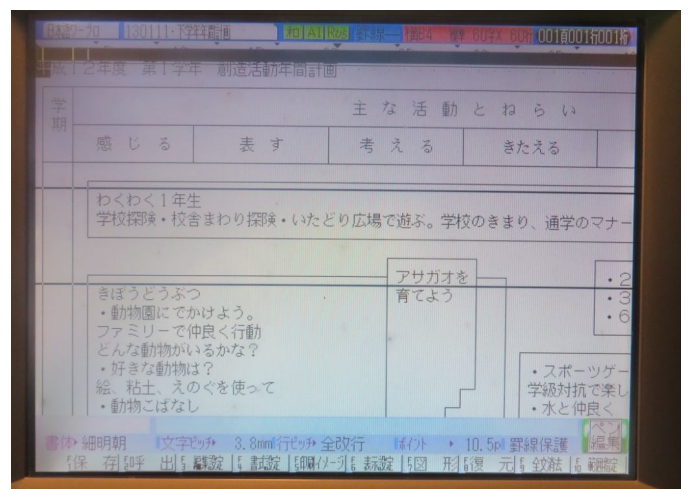
しかも、24 年前に作成した文書が、そのまま残っていた。「1109・」平成 11 年 (1999 年) に作成した文書である。



「ポケモン」というのを開いたら、初期のポケモンがカラー表示でたくさん出てきた。当時 1 年生を担任していたので、何かプリントに印刷したのだろう。



指導案も残っていた。毎年 2 月の公開研究会の前には、要項原稿や指導案を書いていた。赴任当時は手書きだったが、その後ワープロ提出になった頃のものだ。



1 年生の創造活動の指導計画も入っていた。こんな複雑な表組も制作できたこと、24 年間まったく劣化していなかったことなど、全く驚きの連続だった。